講義計画書

（シラバス）

2025 年度

第 32 期生

【3 年次】

宮本看護専門学校

学籍番号	氏名

（実務経験のある教員等による授業科目）

専門分野	地域・在宅看護論	配当時期　3年次前期	担当者（担当時間数）
科目名	地域・在宅援助論Ⅳ	単位数　1単位	永長　健一　水海　良太 長塚　敦美 作業療法士・理学療法士 （以上　宮本病院）（8） 古澤　さとみ（水郷荘） 保健師（稲敷市）（2） 坂口　志帆（2） 髙城　利恵（18） 看護師臨床経験有
教育内容	多職種連携協働 地域・在宅マネジメント	時間数　30時間	

科目全体のねらい・到達目標

地域で暮らす人々の暮らしを支えるために多様な人々と連携・協働し、マネジメントする必要性を理解する。それぞれの職種の特色を理解し、多職種の中での看護の役割と機能を語ることができる。

回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	4/2	4限	1．多職種連携（機能訓練）	講義	高城
2	4/10	3限	2．多職種連携	講義	高城
3			理学療法・作業療法・言語聴覚		PT　OT　ST
4	4/17	3限	3．多職種連携（GW）	GW	PT　OT　ST
5		4限			
6	4/24	3限	4．多職種連携（発表）	GW	PT　OT　ST
7	4/23	2限	5．多職種連携（医師による地域連携の役割等について）	講義	坂口
8					
9	6/16	3限	6．多職種連携（ケアマネジャーの役割）	GW　講義	高城　古澤
10		4限			
11	6/19	1限	7．多職種連携（多職種連携における看護師の役割）	GW　講義	高城
12		2限			
13	7/16	1限	8．多職種連携（保健師）	GW	高城
14	7/18	1限	9．多職種連携（保健師の役割）		高城
		2限			高城　保健師
		3限	10．まとめ		高城
		4限			
15					

備考

評価方法

レポート

使用するテキスト

医学書院　系統看護学講座　地域・在宅看護の基礎　地域・在宅看護の実践

参考文献

（実務経験のある教員等による授業科目）

専門分野	地域・在宅看護論	配当時期　3年次前期	担当者（担当時間数）
科目名	地域・在宅援助論Ⅴ	単位数　1単位	髙城　利恵（24） 看護師臨床経験有
教育内容	看護過程まとめ　筆記試験	時間数　30 時間	臼田　俊子（6）

科目全体のねらい・到達目標

地域で療養する対象とその家族に対し、療養生活を維持するために健康上の問題を把握し、必要な看護が提供できるように在宅における看護過程を理解する。

回	日時	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	6/16	1限	地域・在宅看護の展開 1、地域・在宅看護過程の特徴 2、地域・在宅看護過程の展開方法 ①地域・在宅看護過程の特徴 ②地域・在宅看護における情報収集とアセスメント ③地域・在宅看護過程における看護目標の設定・計画 ④地域・在宅看護の実施と評価 ⑤地域・在宅看護過程をさらに発展させる視点 ⑥地域・在宅看護の標準化に向けた取り組み	講義 GW	髙城
2		2限			
3	6/17	2限			
4		3限			
5	6/18	3限			
6	7/1	4限			
7		3限			
8		4限			
9					
10	7/2	1限			
11					
12	7/3	3限			臼田
	7/7	4限			
		1限			
13	6/17	1 限			
14	7/1	1・2限			
15					
	7/15	3限	終講試験		高城

備考

評価方法

課題・レポート

使用するテキスト

医学書院　系統看護学講座「地域・在宅看護の基礎」「地域・在宅看護の実践」

参考文献

（実務経験のある教員等による授業科目）

専門分野	精神看護学	配当時期　　3年次前期	担当者（担当時間数）
科目名	精神援助論Ⅲ	単位数　　1単位	古畑　貴子（15）
教育内容	看護過程	時間数　　15 時間	看護師臨床経験有

科目全体のねらい・到達目標

精神疾患により入院治療中の対象者を理解し、看護過程の展開方法を説明できる

1. 精神看護の対象を理解できる
2. 精神看護の対象の情報収集の視点が理解できる
3. 対象が健康生活を回復するために必要な課題を抽出できる
4. 対象に必要な個別的・具体的、患者が参加できる看護計画が立案できる
5. 行った看護を評価する視点について理解できる

回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	4/9	3 限	教材鑑賞（ビューティフルマインドの視聴） A.精神に障害を持った対象の理解とその影響	DVD 視聴 レポート	古畑
2	4/11	4 限	精神科看護過程の特徴	講義	
3	4/16	4 限	精神看護における全人的理解、患者・看護師の関係について		
4	4/17	2 限	精神看護実習における情報の整理と活用		
5	4/18	3 限	・ヘンダーソンモデルにもとづく17項目	個人ワーク	
6	4/18	4 限	事例展開①統合失調症　（急性期・慢性期）	グループワーク	
7	4/21	4 限	まとめ		
8	4/22	1 限	筆記試験・まとめ		

備考

評価方法

筆記試験：30点、課題レポート：70点

使用するテキスト

医学書院　系統看護学講座　精神看護の基礎　精神看護の展開

医歯薬出版　はじめてのヘンダーソンにもとづく精神科看護過程

参考文献

専門分野	看護の統合と実践	配当時期　　3年次前期	担当者（担当時間数）
科目名	看護管理	単位数　　1単位	藤原　里美（8）（宮本病院）
教育内容		時間数　　15 時間　テスト含む	猪瀬　明美（6）（JAとりで）

科目全体のねらい・到達目標

1. 看護マネジメントの必要性と意義について述べることができる
2. 看護ケアのマネジメントと看護サービスのマネジメントの特徴を説明できる
3. チーム医療における看護師の役割、リーダーシップの必要性について説明できる
4. 看護ケア提供システムの特徴について説明できる

回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	7／10	3限	看護とマネジメント	講義	猪瀬
2	7／10	4限	看護ケアのマネジメント　安全管理　チーム医療		
3	7／16	3限	看護職のキャリアマネジメント		
4	7／2	3限	看護サービスのマネジメント①　情報管理　人材マネジメント	講義	藤原
5	7／8	1限	看護サービスのマネジメント②　情報管理　人材マネジメント		
6	7／8	2限	看護を取り巻く諸制度		
7	7／15	2限	マネジメントに必要な知識と技術		
8	9／12	2限	終講試験	試験	

備考

評価方法

筆記試験100点

使用するテキスト

医学書院　系統看護学講座　看護の統合と実践「看護管理」

参考文献

（実務経験のある教員等による授業科目）

専門分野	看護の統合と実践	配当時期　3年次前期	担当者（担当時間数）
科目名	看護研究の実際	単位数　1単位	砂長　久枝（30）
教育内容		時間数　30 時間	看護師臨床経験有

科目全体のねらい・到達目標

1.　関心を持った事象について、系統的に文献を探すことができる

2. 関心を持った事象について、先行研究や関連文献を整理し、研究課題を明らかにすること ができる。

3. 研究課題を明らかにするための研究計画書を作成することができる

回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	4/2	3 限	ケースレポート作成	演習	砂長
2	4/4	3 限	〃		
3	4/4	4 限			
4	4/9	1 限			
5	4/9	2 限			
6	4/10	2 限	ポスター作成		
7	4/11	1 限	〃		
8	4/11	2 限	〃	発表	
9	4/16	1 限	ケーススタディー発表（準備）		
10	4/18	1 限	ケーススタディー発表		
11	4/18	2 限	〃	講義	
12	4/21	1 限	看護研究の基礎知識	演習	
13	4/21	2 限	看護研究とは　研究方法の種類　看護研究のプロセス		
14	4/23	1 限	看護研究のための文献検索		
15	4/24	1 限	〃		
			〃		

備考

評価方法

演習評価表に則り評価する

使用するテキスト

医学書院　系統看護学講座　別巻、「看護研究」

参考文献

看護における研究、日本看護協会出版会

専門分野	看護の統合と実践	配当時期	3年次前期	担当者（担当時間数）
科目名	災害看護　国際看護	単位数	1単位	三橋　弘志（8）（宮本病院）
教育内容	看護の統合と実践	時間数	15時間	小宮　由理（6）

科目全体のねらい・到達目標

1. 災害の歴史的変遷および災害・災害看護の定義を理解し、災害の種類による健康問題の特性 を理解できる。
2. 災害各期（準備期・発災時・発災後急性期・復旧復興・長期）における看護活動について理 解できる。
3. 災害時における「場」における看護の特徴 避難所・救護所・仮設住宅等での看護活動や要配慮者に対する支援について理解できる。
4. 災害対応に関する法的側面および行政の役割について理解できる。
5. 災害時における地域の対応のシステム・要配慮者の理解と対応の実際を理解できる
6. 国際看護の基礎的知識を理解する
7. 世界の健康問題の現状と国際協力の課題について理解する
8. 国際協力活動において看護が果たす役割について理解する

回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	4／10	2限	災害の分類、実際の災害から考える	講義	三橋
2	4／17	2限	災害医療の概要、目的 救急医療と災害医療の違い	講義	
3	4／24	2限	災害準備、災害要素、自助、共助、公助	講義	
4	7／4	3限	グループワーク、体験、水害想定	GW	
5	4／16	3限	国際看護の実践		小宮
6		4限	国際看護の実践	講義	
7	4／23	3限	国際協力活動において看護が果たす役割	講義	
8	7／7	2限	筆記試験	試験	

備考

評価方法

使用するテキスト

医学書院　系統看護学講座　看護の統合と実践 「災害看護・国際看護」

参考文献

（実務経験のある教員等による授業科目）

専門分野	看護の実践と統合	配当時期	3年次後期	担当者（担当時間数）
科目名	総合学習	単位数	2単位	増尾 真由美　砂長 久枝 他全教員（60）
教育内容	看護基礎知識・技術の統合	時間数	60時間	看護師臨床経験有

科目全体のねらい・到達目標

1．卒業時点で看護専門職として身についているべき基礎的知識・技術を統合し、対象のニーズや状況に応じた「看護実践能力の基本」を身につける

2．臨地実習で実施した技術の自己の到達度を把握し、今後の自己の課題を見つける

3．臨床に近い状況に設定された場面での対象の状態に応じた看護実践を通して、現時点での看護実践能力を評価する

回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	11／20	1 限	人体の構造と機能	講義	宮本（二）
2	11／20	2 限	人体の構造と機能	講義	
3	12／11	1 限	疾病の成り立ちと回復の促進	講義	
4	12／11	2 限	疾病の成り立ちと回復の促進	講義	
5	11／17	1 限	健康支援と社会保障制度まとめ	講義	平野
6	11／17	2 限	基礎看護学まとめ	講義	岡本
7	12／9	3 限	成人看護学まとめ	講義	岩田
8	12／9	2 限	老年看護学まとめ	講義	高城
9	12／10	1 限	小児看護学まとめ	講義	野原
10	12／10	2 限	母性看護学まとめ	講義	後藤
11	11／21	1 限	精神看護学まとめ	講義	古畑
12	11／21	2 限	地域・在宅看護論まとめ	講義	増尾
13	12／9	4 限	看護の統合と実践まとめ	講義	砂長
14	11/18	1限	総合技術演習	演習	増尾・砂長
15	11/18	2 限	総合技術演習	演習	
16	11/19	1 限	総合技術演習	演習	
17	11/19	2 限	総合技術演習	演習	
18	12/8	1 限	卒業時到達度技術試験	試験	全教員
19	12/8	2 限	卒業時到達度技術試験	試験	
20	12/8	3 限	卒業時到達度技術試験	試験	
21	12/8	4 限	卒業時到達度技術試験	試験	
22	12/9	1限	リフレクション、まとめ	GW	増尾・砂長
23 24 25 26 27 28 29 30	1/6 1/7		総合学習終講試験（筆記）（1日目） 総合学習終講試験（筆記）（2日目）	試験	砂長・他

備考

評価方法

筆記試験、技術試験　評価基準に則り評価する

使用するテキスト

配布資料

参考文献